◇◆◇いきものプロジェクトシリーズ 第２弾
カブトガニの卵塊幼生調査＆学習会　レポート◇◆◇

◆ 開催日時：平成２６年９月１０日（水）13：45～15：10　◆ 会場：今津干潟四所神社前　◆ 参加者：49 名

◆ 目的：身近な自然である今津干潟に触れ，重要性を感じる

昔話

今津校区自治協議会の大歯会長より，子どもの頃，学校に行く途中に干潟に寄り道をして足がはまってしまった話やカブトガニをニラと一緒に煮て食べていたなどの思い出話をしていただきました。昔は干潟の自然が地域や子どもたちにとって**身近なもので密接につながっていた**ことを説明していただきました。

学習

福岡舞鶴高校校長の杉本先生による講話では，雄雌の見分け方，卵塊について，幼生は脱皮を繰り返し成体になるまでに１５年ほどかかることや，カブトガニには目が５つあることなどを標本や図鑑を使って説明していただきました。先生の講話で今津干潟の貴重な生きものカブトガニについて，より**深く学び**ました。

調査

今回の環境学習で子どもたちは砂浜の２０㎝くらいの深さに産み付けられている２～３mm のカブトガニの卵の塊を見つけ実際に触るなどの体験をしました。また，幼生調査では，カブトガニの幼生を探し，幅 2cm～4cm 約２齢～3 齢のカブトガニの幼生を５匹発見し，興味深そうに観察を行っていました。普段入る機会の少ない干潟で，**みんなで楽しく**泥んこになりながら調査を行い，**今津の貴重な自然について学ぶ**ことができました。今回採取した回転卵は，舞鶴高校で孵化していただき，次回，１０月２９日実施の“第３弾”にて放流会を行います。

今回の学習会では，地域の子どもたちが今津干潟やカブトガニという身近な自然に触れあい，楽しみながら体験学習することで，その存在を強く認識できたと感じています。また，自治協議会長や公民館長をはじめ，地域の方々，一般市民，学生や関係団体などが一緒になって参加したことで，今津干潟に関係する方々の交流が生まれており，このネットワークは今後の取組みに活かしていきたいと考えています。

＜今後のイベント情報＞

第１弾　みんなでつくろうカブトガニの通り道

平成26年8月24日（日）　済

●地域の方を中心に57名が参加表明、当日は荒天により中止

第２弾　カブトガニ卵塊幼生調査体験

平成26年9月10日（水）　済

●今津小学校４年生と一般参加者，地域の方の計４９名が今津小学校の環境学習に参加し、カブトガニを通して今津干潟の自然に直接触れることで，その重要性を学びました。

第４弾　謎解きウォークラリーイベント

平成26年12月7日（日）

●地域住民からヒントをもらい、謎を解きながら地域の宝探しをする謎解きツアー

第５弾　野鳥観察会＆子ども野鳥カフェ

平成27年1月予定

●クロツラヘラサギをはじめとする野鳥観察の後に野鳥のことを語り合う